

福島工業高等専門学校	開講年度	平成30年度(2018年度)	授業科目	特別研究Ⅱ
科目基礎情報				
科目番号	0038	科目区分	専門 / 必修	
授業形態	実験・実習	単位の種別と単位数	学修単位: 10	
開設学科	産業技術システム工学専攻(化学・バイオ工学コース)	対象学年	専2	
開設期	通年	週時間数	5	
教科書/教材	各テーマについて指導教員より指示がある。			
担当教員	車田 研一,原田 正光			
到達目標				
①応用化学の幅広い知識が要求される課題に対して、問題解決に向けた計画を自ら立案できる。 ②継続的に研究計画を遂行するとともに、想定外の問題を解決する能力を身につける。 ③実験データの整理・分析等を行い、適切な解説および考察ができる力を養う。 ④研究成果を報告書や論文にまとめ、学内外で発表することを通じて、ディスカッションやプレゼンテーション能力を身につける。 ⑤研究室における活動を通じてチームワークやリーダーシップ能力を身につける。				
ループリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1	到達目標の内容を実践で理解し、応用できる。	到達目標の内容を実践で理解している。	到達目標の内容を実践で理解していない。	
評価項目2				
評価項目3				
学科の到達目標項目との関係				
教育方法等				
概要	担当教員の指導の下に、自ら課題を設定してその課題解決のために取り組むことで、専門知識を活用して、さらに深い専門能力の進展を図り、探索的な学習を通じて課題解決能力、研究能力、デザイン能力、プレゼンテーション能力を育成する。また、研究活動を通してチームワークやリーダーシップを発揮する能力、計画遂行能力などを育成する。【クラス分け方式】			
授業の進め方・方法	【クラス分け方式】 ガイダンスとクラス振り分け。テーマの決定、関連する文献調査・参考資料作成 実験、調査、データの整理と分析 結果のとりまとめと研究論文の作成、発表会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・粉粒体の製造にかかるプロセッシングとハンドリング時の力学的現象の研究(車田研一教授) ・種々のアモルファスガラス素材の製造にかかるプロセッシングとその熱的誘導体の構造と応用に関する研究(車田研一教授) ・機能性コロイドの作製とその界面制御に関する研究(指導教員:車田研一教授・指導補助教員山内紀子助教) ・ナノ複合材料の構造と機能に関する研究(田中利彦教授) ・環境中の微量有害・有用物質の新しい分離・濃縮法の開発と環境試料の計測・回収法への応用に関する研究(車田研一教授・羽切正英准教授) ・動物における新規生体分子の分布、代謝および機能に関する研究(柴田公彦准教授) ・エネルギーの有効活用に資する機能材料およびその合成プロセスの開拓(羽切正英准教授) ・資源有効活用のための材料処理・合成プロセスの開拓(羽切正英准教授) ・機能性糖鎖および糖質材料の開発研究(尾形慎准教授) ・新規有機2次非線形光学材料の合成と評価に関する研究(梅澤洋史准教授) ・機能性生体高分子の凝集・結晶化とその分析・評価法に関する研究(若松孝教授) 			
注意点	研究能力の育成と向上のために、積極的かつ自主的な取り組みが望まれる。定期的にレポートの提出を課す。さらに原則として学会等での発表を義務づける。 研究遂行を50%, 報告書の内容を30%, プrezentationを20%として評価し、60点以上を合格とする。			
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
後期	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		

	7週		
	8週		
4thQ	9週		
	10週		
	11週		
	12週		
	13週		
	14週		
	15週		
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	取組状況	報告書	発表	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	30	20	0	0	0	100
基礎的能力	50	30	20	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0